2026.8.24

令和8年笛吹市議会第3回定例会の告示に伴う
記者会見質疑応答（要約）

■記者
観光客周遊促進事業の内容を教えてください。

■市長
企業版ふるさと納税ということで1,000万円の寄付をいただきますが、自由に使えるというわけではなく、アサヒビールさんの営業やアルコール産業を少しでも発展させいくような要件が付されています。

■財政課長
今回の事業につきましては、石和温泉郷及びFUJIYAMAツインテラスを中心に、笛吹市に訪れる観光客の周遊を図ることを目的とした新規事業になります。
内容につきましては、オリジナルカクテルやモクテルの作製、また絵馬スタンドやフォトフレームの設置など、回遊型のイベントを展開する予定となっています。
アサヒビールの条件としましては、アサヒビールが勧めていますスマートドリンキングの普及啓発及びオリジナルドリンクの開発などが要件となっています。

■市長
会場は石和温泉やFUJIYAMAツインテラスなど使用します。要するにアサヒビールの飲料を使って広報宣伝活動をしてくださいということです。
自治体の力も借りながら、企業の宣伝も含めた事業に寄付するということです。
これから最終的な内容を詰めていきますが、そんな方向で進めていきます。
全国の応募の中から10件しか選ばれず、その中で選ばれた案件のため、しっかりやっていきたいと思います。

■記者
本年7月の一宮町での降雹、大雨被害に対し、市として独自の支援制度を検討していきますか。

■市長
現時点では、国や県の制度に則った支援を考えています。
すでに動き出していまして、国の補助制度で再建する際、ぶどう棚を作る経費の半分がJAを通じて補助されることになっていますので、この制度を是非活用してくださいとお願いしています。
また、共済の保険制度ではハウスの倒壊は補償の対象となっていますが、ぶどう棚は対象となっていないので、現在副市長が県を通じて、対象にしていただくようお願いする方向で動いています。
市独自の支援制度を作ることは簡単なことではありません。
まず、今ある制度をきっちり使えるような制度に変えていくというのも私たちの仕事です。今回被害を受けた方々には、国の災害支援制度を使っていただく、市としては保険適用の折衝をしていく、この2本立てで進めていきます。

■記者
クビアカツヤカミキリの防除の進捗状況を教えてください。

■市長
農地については、JAを通じて農林振興課が、市有施設、インフラについては、建設部が一生懸命対応しています。問題は個人宅です。なかなか消毒をするのが難しいご家庭もあるので、環境推進課で薬剤散布の希望を受付けて、委託業者に散布を依頼しています。三つの分野で同時進行しています。

■政策課長
まず、農地については、農家の皆さんがJAまたは薬剤販売店から薬剤を購入して散布しています。そして、県はJAや薬剤販売店に対して、その掛かった費用を補助する制度となっています。8月18日時点でJAからは、これまでに購入された防除の薬剤量で防除可能な面積を算出した上で、桃、すもも、梅といった対象樹木の栽培面積のうち、約60%が防除されたであろうと見込まれているところです。
農地以外の場所として、民有地、市有施設、インフラがあります。
民有地については、庭や会社の敷地に植えている方から市に連絡いただいて、市が契約する委託業者に散布に行ってもらう形をとっています。8月20日時点で742件、3,364本について、市が設置するコールセンターに防除の依頼がありました。
市有施設、インフラについては、市が調査したところ、2,385本の対象樹木があり、

現在、市から委託業者に防除の依頼をしており、先週から防除が始まり、市有施設、インフラについては、8 月中の防除完了を目指して進めています。
民有地についても、現在防除に取り掛かっていますが、順次、市民の皆さんのご予定を伺う中で、早めに防除完了できるよう対応しているところです。

■記者
民有地の部分ですが、現在 3,364 本依頼があったとのことですが、残りの約半分の進捗状況としては順調なのか、それとも防除の呼び掛けをしていかなければならないのでしょうか。

■政策課長
新聞に折り込みチラシを入れたり、行政区を通じてチラシの全戸配布、また、本日連合区長会の会議がありますので、さらに周知を図っていきたいと考えています。

■記者
当初 8 月 31 日までの防除期間が 9 月 30 日まで延長したというのは、市としては 9 月 30 日までに全対象樹木を防除したいという考えでお間違いないでしょうか。

■政策課長
当初、県の通知やチラシを基に防除期間を想定して、8 月 31 日までを事業実施期間としていました。ただ、8 月 18 日に県から県のクビアカツヤカミキリの樹木事業の補助金交付要綱が通知され、対象期間が 9 月 30 日までと示されたことから、市でも事業実施期間を 9 月 30 日まで延長しました。ただし、事業期間を延長したということに関わらず、市としては可能な限り早期の防除完了を目指していきたいと考えています。

■記者
民間の方々に対して、クビアカツヤカミキリが市内全体に広まってしまうと、市の産物である果樹に影響が出るかと思いますが、市長に防除を呼び掛けるコメントをいただければと思います。

■市長
こういうのは初動が大切です。私は後悔をしたくないんです。物事が起きた時には、市民にご協力をいただきながら、積極的に対策を取っていくことが行政として一番重

要なことじゃないかと思います。非常に職員が一生懸命応えてくれて、一生懸命やってくれています。あとは市民の皆様に是非ともご協力いただいて、みんなで徹底した防除をしていきたいと思います。
今年だけではなく、来年以降も防除していかなければならない可能性があるので、県も毎年あるということを前提に補助金の予算措置を考えてもらいたいです。
市内に実際のところバラ科の木がどのくらいあるかはわかりません。今回申請をいただいてたものをデジタル化して、来年以降のためにしっかり取り組んでいこうと思います。また、SNS も利用して呼び掛けていきたいと思います。

■記者
今回の補正予算にも物価高騰や資材高騰による増額補正があり、笛吹市だけではなく他自治体でも同じようなことが起きていますが、このような状況を市長はどのようにご覧になっているのか、また今後の対応は何かありますでしょうか。

■市長
特に設備関係が非常に高騰しています。昔に比べて 3 割くらい上がっています。
なかなか行政で予定どおりには進まないため、非常に頭の痛いところですが、先日、市長会で初めて 13 市から財務省と国土交通省へ資材高騰に対する社会資本整備を含めた予算の増額の陳情を行いました。補助金や交付金、また交付税措置などいろいろやり方はあると思いますが、国へは「是非ご検討ください」とお願いしてきましたので、そういう風な動きの中で対応していきたいと思っています。

■記者
最近、熊本県で地震、千葉県では豪雨があり、災害が激甚化したものが多くなっています。防災の日が近づいていますが、防災訓練の内容の更新や追加などの対策を進めていることはありますか。

■市長
今年は 8 月 30 日に防災訓練を実施します。職員の皆さんには災害があることを前提にいろいろな備えをするよう口酸っぱく言っています。また行政区に対しても、有事に備え、我が身のこととして訓練を実施するようお願いしていますので、対応についてはかなり蓄積されてきていると思います。

■総務部長
今年度も市の防災訓練として、8 月 30 日の日曜日に開催します。
今年度からの新たな取組としては、行政区でも防災訓練を実施しますが、昨今の暑い状況等を踏まえ、行政区から防災訓練の日程を変更してもらいたいとの要望がありましたので、全体の防災訓練は 8 月 30 日に実施しますが、行政区は別日に実施することも可能としました。
防災訓練の内容については、実際災害が起きた時には基本の動きが重要なため、これまでの基本の訓練を繰り返し行います。
市の対策本部も訓練を行いますが、その中では実際に地震が起きた時に、対策本部の部員、部長等がどういう動きをしたらいいのか、グループディスカッションのような感じでやりながら考えていくような取組も行っていきたいと考えています。

■記者
石和温泉花火大会が終わり、夏祭りが一段落しましたが、今年の夏祭りの盛り上がり状況と、11 月の川中島合戦に向けた観光振興についてお伺いします。

■市長
今年の全国の大型の花火大会は、入込状況が非常に悪かったと聞きました。長岡の花火大会だけが大入りで、大曲や諏訪、全国各地の有名な花火大会が軒並み満席になっていないそうです。なぜかというと、酷暑と天候不順で、花火大会に行って大雨に降られては嫌だとか、そういうことで入りが良くなかったらしいです。
市でも鵜飼いは 5 日くらい中止になっているはずだと思います。この天候不順は、これからも課題になっていくことなので、夏のイベントは雨のことを頭に入れながらの準備を考えていかなければならないと思いました。
これも課題ですが、先日鈴木甲州市長にお会いした時に、醸造用の葡萄が売れていないというか余って困っているという話を聞きました。
市内のワイン会社に聞いたところ、昨年仕込んだものを今販売して間に合っているので、新たに仕込む必要がないと、逆に作っても売れない状況だそうです。
そんなこともあるので、秋に向けてワインというものを少し表に出し、ワイン協会の方々と一緒に考えながら、イベントを行う予定でいます。川中島合戦は 1 日のイベントですが、温泉、ワインを使ったイベントを行い、市の観光を盛り上げていきたいと思っています。
また、イルミネーションを 11 月下旬から 1 月末まで開催していましたが、少し前倒し

て 11 月中旬から開催したいと思っています。

以上